

3月定例会は2月27日から3月22日までの24日間の会期で開催されました。



▲ 九州オレレでおもてなし! (佐伯豊南高校生)



トピックス

- ★ 当初予算を可決 (P2~3)
- ★ 介護保険 修正案可決 (P6)
- ★ 議会報告会を開催 (P15)

★ 市議会は、受付の名簿に氏名等を記入するだけで傍聴できます。お気軽にお越しください。

★ 市議会に関する情報は佐伯市のホームページから閲覧できます。

検索

平成30年度当初予算を可決！

災害対策施設整備事業

佐伯創生推進総合対策事業

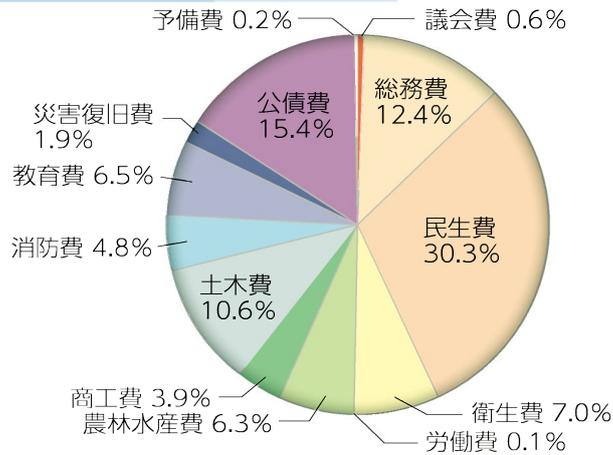
つるおか保育所（仮称）建設事業
など

予算過去最高額 約470億円！

平成30年度佐伯市一般会計の当初予算は、総額469億6800万円で、対前年度比、5億7106万円、率にして1.2%の増加とし、積極的な予算編成が行われました。

この要因は、災害対策として津波避難タワーや人工高台等の整備を行う「災害対策施設整備事業」、過疎・地域支援対策として、それぞれの地域の特性を生かしたまちづくりを行うための「佐伯創生推進総合対策事業」、少子化・高齢者対策として、保育所の整備を行う「保育所等整備交付金事業」・「つるおか保育所（仮称）建設事業」等の大型事業を行うことによるものです。

歳出の構成比（目的別内訳）

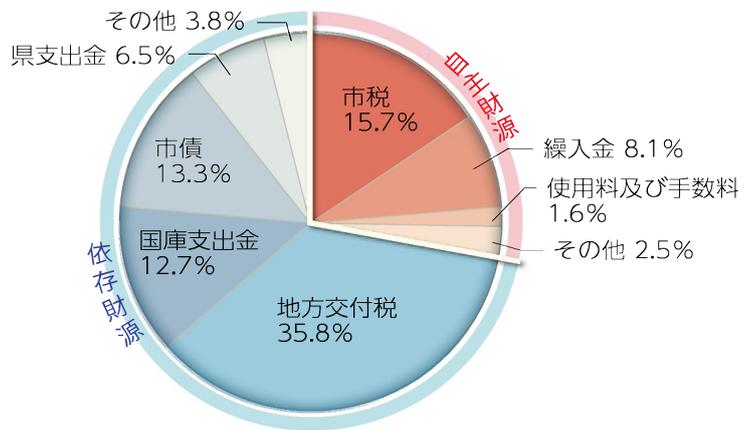


歳出の状況

【目的別内訳】（単位：千円）

区分	平成30年度当初予算額
議会費	280,217
総務費	5,836,041
民生費	14,235,676
衛生費	3,284,240
労働費	71,591
農林水産業費	2,941,716
商工費	1,852,107
土木費	4,971,955
消防費	2,243,574
教育費	3,047,259
災害復旧費	884,626
公債費	7,218,998
予備費	100,000
合計	46,968,000

歳入の構成比（自主財源・依存財源別）



予算特別委員会（審査）
中心市街地活性化計画の
全貌を明らかに！

質疑（総務費）

市街地グランドデザイン策定事業の業務内容について

答弁

大手前開発事業を中心とした中心市街地活性化計画までを第1ステージと捉え成果をより高めるとともに、残された課題を踏まえて、第2ステージでは、長期的なビジョンに基づいて現状分析から将来のビジョンが見える形で示していく。



▲大手前新バス停

主な事業

コミュニティ交通整備事業

約8,500万円

公共交通機関の空白地域で導入基準を満たす地域に、最低限の交通手段を確保するため、コミュニティバス等を運行する。



出産祝品贈呈事業

約150万円

出生した子どもを祝福するとともに、健やかな成長を願い、出産祝品を贈呈する。



大手前開発事業

約9億1,639万円

大手前まちづくり交流館（仮称）、大手前広場（仮称）、バスターミナル（機能）を主要な施設として整備する。（P4参照）



▲まちづくり交流館（イメージ）

幼稚園エアコン整備事業費

2,600万円

幼稚園の保育室と遊戯室（多目的室）にエアコンを導入する。



女島橋架替事業

4,000万円

女島橋は、住民が避難するのに必要な橋であるが、橋梁耐震化調査の結果、耐震化不可のため、橋梁の架け替えを行う。



▲女島橋

災害対策施設整備事業

約2億3,144万円

津波避難タワー（女島）、人工高台造成（中川・塩屋・新女島）、大型備蓄倉庫（上堅田）の整備を行う。



▲人工高台イメージ図

定例会の概要

平成29年度一般会計総額
497億1131万円に

3月定例会では、議案83件（予算関連26件、予算外議案44件、その他13件）が提出され、全ての議案が可決されました（介護保険条例の一部改正については修正可決・詳細は6ページ参照）。平成29年度一般会計補正予算（第7号）の可決により、同年度一般会計予算総額は497億円を超えました。

正算 補予

ふるさとさいき応援
寄附金関係が増額に

ふるさとさいき応援基金

2億6833万円増

ふるさとさいき基金条例に基づいて積み立てるもの。平成29年度に佐伯市に入った寄附金総額は、約13億5000万円に達しています。

ふるさとさいき応援寄附金事業

4億4506万円増

ふるさと寄附金が増えたため、寄附者に対するお礼品を贈る費用等を増額するものです。

議会ミニ知識

総合評価方式とは？

入札方法の一つで、従来の競争入札に比べ、業者の競争力、地域貢献度などを点数化し、落札者を決める。佐伯市では、これまで大規模工事の際に適用している。

大手前まちづくり交流館 建築等業者決定

大手前に建設されるまちづくり交流館（仮称）の工事請負契約の締結議案が成立しました。（工期平成32年3月13日まで）

※入札方式は要件設定型一般競争入札（総合評価方式）

①建築主体工事

熊谷・菅・佐々木特定建設工事共同企業体
契約金額 35億6184万円

②電気設備工事

九電工・匹田電気工事特定建設工事共同企業体
契約金額 6億9352万2千円

③機械設備工事

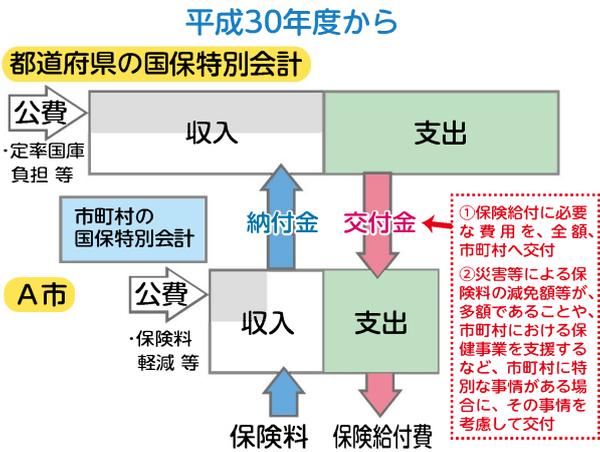
九電工・匹田電気工事特定建設工事共同企業体
契約金額 6億7498万3800円

制度解説

大きく変わった国民健康保険制度

平成27年5月27日に改正された国民健康保険法（以下「法」）が平成30年4月1日より施行され、国民健康保険の運営が大分県との共同運営に変わりました。（法第3条）

法は、「持続可能な医療保険制度を



平成29年度まで

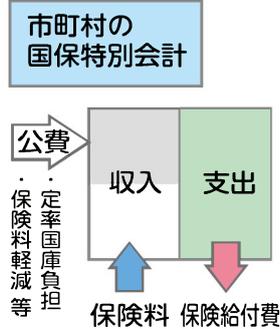


図1（厚生労働省資料より）

構築する」ことを目的に改正され、都道府県は、財政運営に中心的な役割を担い、市町村は、資格の取得・喪失、保険料の徴収、保健事業の実施等の役割を担います。（法第4条）

これまでの市の国保特別会計は、被保険者の保険料や国庫負担金等の収入を保険給付費（医療費の市が負担する分や葬祭費等）や保健事業に充ててきました。これからは、国庫負担金は県に入り、市に入る保険料等は一度県に納め（納付金）、必要な支出額（保険給付費）を県から交付金としてもらうこととなります。（図1）

国保改正による特別会計予算

反対意見あるも可決

《反対討論》

国保税が上がる、市民、市議会の声が届かなくなる、市の独自事業が失われるなどの懸念がある。

《賛成討論》

医療費水準の高い国民健康保険を将来にわたり維持するには、財政運営を都道府県へ移行することが必要。

総務常任委員会

予算外議案14件、専決処分報告1件
全て可決すべきものと決す

旧豊南高校の建物など

1億4千万円で買収

買収する建物は、鉄筋コンクリート造17棟、鉄骨造1棟、軽量鉄骨造1棟、コンクリートブロック造4棟の合計23棟です。

買収価格は、1億4014万1314円です。

質疑 買収するのは建物だけなのか。

答弁 土地も一体的に取得する。土地は価格が2000万円に満たないので議決案件にはならないことから上程していない。

旧佐伯市市福所地区林業集會センターを無償で譲渡

林業集會センターは、地区集會所に類する施設で、今後もこのような施設は、地区へ譲渡を推進する方針です。



▲旧佐伯市市福所林業集會センター(佐伯市青山)

木造瓦ぶき平屋で、市福所地区の地域振興の拠点となる施設で同地区へ無償譲渡します。

質疑 土地は、市のままで譲渡するのか。固定資産税はどうなるのか。

答弁 土地は地区の所有である固定資産税は、免除申請により減免されている。

建設経済常任委員会

予算外議案11件、専決処分報告2件
全て可決すべきものと決す

空家等の適切な管理を!

平成24年に市議会提案により制定された空き家管理条例。

その後、平成27年、空家特措法が制定されたことを受け、現行条例を全面的に改正することになりました。

新たな条例では、法と重複する部分を削除したほか、市の責務(第3条)、空家等の所有者の責務(第4条)及び緊急安全措置(第6条)については、本市独自のものとして残しました。

質疑 適正な管理と活用促進とは?

答弁 一概に壊すだけでなく空き家バンクの活用や国の補助金等、支援策もあるので、活用と取り壊しを含む方法で取組んでいく。

質疑 空き家バンクの活用方法は?

答弁 別途実施要綱を設けている。空き家を活用したい方、空き家を

佐伯市空家等の適切な管理及び活用促進に関する条例



▲佐伯市空家家対策パンフレット

活用してもらいたい方、双方とも登録する仕組みで既に実施している。

質疑 避難施設として空き家の活用は?

答弁 災害時の住宅使用としては、可能であり、災害時の状況に応じ検討する。

代表・一般質問

代表質問 3月6日

一般質問 3月7、8、9日

※代表・一般質問の掲載について
代表・一般質問の記事は、議員の責任において、本人が質問・答弁の原稿を作成しています。その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載しています。

なお、代表・一般質問の掲載順序は紙面の都合上、質問順とは異なります。



質問者	質問の要旨
志高会 坪根 大吉	・市長の施政方針について
南風会 御手洗秀光	・予算編成の考え方と市長の市政方針について ・教員の働き方改革について ・台風18号の復旧・復興対策について ・介護保険事業の現状と介護保険事業計画等策定委員会について
彩輝会 富松 万平	・観光行政について ・佐伯創生について
佐伯を元気にする 無所属の会 井上 清三	・福祉政策について ・観光政策について
菅 さとみ	・新たに建設する公共施設の避難設備について ・大手前まちづくり交流館（仮称）について ・不審船漂着時の対応について ・学校教育の在り方について
上田 徹	・大入島架橋の建設促進について ・JR九州の大幅減便について ・フッ化物洗口の実施について
本田 房代	・佐伯市の医療体制について ・重度心身障害者医療費について
高司 政文	・市政の継続について ・公用車での交通事故と安全運転管理について ・住民と自治について
森 三千年	・佐伯市の林業振興について ・東九州自動車道佐伯管内トンネル内のラジオ放送について
佐藤 元	・農業振興地域について ・佐伯広域森林組合について ・佐伯市補助交付金について
浅利美知子	・国民健康保険における保険者努力支援制度について ・重度心身障害者医療費給付制度について ・高齢者の運転免許証の自主返納について
清田 哲也	・窓口業務の外部委託について ・水道事業について ・鶴岡地区の諸課題について ・小中学校における主権者教育の充実について
濱野 芳弘	・観光振興について ・防災訓練について
大野 達也	・インフルエンザの対応について ・地域おこし協力隊について ・海フェスタ開催の検討について ・国民文化祭、障害者芸術文化祭について
飛高彌一郎	・クルーズ船の誘致について ・佐伯駅のエレベーター設置について ・あいうべ体操の普及について ・佐伯市総合運動公園の整備について ・人事異動について
後藤 勇人	・所有者不明の土地について ・交通安全教育について
河野 豊	・平成29年の台風18号の対応について
西條 隆洋	・台風18号による災害復旧の進捗状況について ・今後の防災対応について ・中学校の部活動について



志高会 代表質問 坪根 大吉

災害に強いまちづくりを

問 河床掘削や公共残土を利用した工業用地の確保はできないか。

答 残土の処理については、市のみならず国、県においても、苦慮しており、今後は番匠川や井崎川の河床掘削や道路建設工事、さらには東九州自動車道弥生パーキングエリアの建設による残土等、大量の発生土が見込まれる。佐伯市としても、建設部、農林水産部、各振興局職員からなる「佐伯市公共事業発生土処理プロジェクトチーム」を組織し、市内の適地について調査を行なっているところである。

今回の台風18号災害の際に国、県に対し、市と一体となつて残土処理問題に対処するよう、働き掛けている。
佐伯港湾計画における残土処理の埋め立てについては、新しい工場やふ頭用地等の新たな必要性が生じれば「佐伯港総合開発推進協議会」の中で協議されることになる。



南風会 代表質問 御手洗 秀光

教員の働き方をどのように変えていくのか

問 昨年の6月定例会で教職員の勤務実態と対策について質問したが、それ以降の調査と結果は。

答 教育委員会では、平成29年11月と12月に時間外勤務状況調査を実施した。その結果、時間外勤務時間数は1日平均で小学校1時間29分、中学校1時間59分だった。国の「学校における働き方改革に係る緊急提言」を受け、「今できることは直ちに行う」という認識のもと、①ストレスチェックを利用した教職員の意識改革を図る管理職への指導強化 ②各種作文・絵画コンクールの出席数の削減 ③部活動における休日・休養日確保の徹底を図る指導 ④支援が必要な児童生徒及び家庭に対する臨床心理士、スクールソーシャルワーカーによる教育相談のサポート強化に取り組んでいる。更に来年度は、部活動指導員の配置、学校閉庁日の設定、土曜授業の見直し、学校給食費の公会計化の検討など、教職員が業務負担の軽減を実感できる働き方改革に引き続き取り組んでいく。



彩輝会 代表質問 富松 万平

既存事業を整理し、専門分野には外部登用を!!

問 既存事業の検証と整理を為政者が交代した今こそすべきではないか。

答 第2次佐伯市総合計画に掲げた事業を推進していくためには、事業のスクラップ・アンド・ビルドを着実に行うことが肝要である。計画策定後、直ちに既存事業の見直しと整理に取り組んでいく。

問 新たな佐伯市を創生するため、10年のグラウンドデザインを描き、大幅な機構改革をしようとしている。佐伯創生の実現のためには、より専門的で大胆な行政手腕が必要となる。特に地域医療や観光分野など、必要と思われるところには、国や県からの招へいや民間登用を考えてもいいのではないか。

答 第2次佐伯市総合計画において、基本政策として掲げる佐伯7つの創生をスピード感を持って実現していくためには、外部からの知識や経験を積極的に活用していく事が必要であると考えている。
来年度からは、観光、農林水産、教育、エコパーク、国民文化祭・中心市街地グラウンドデザインの策定などに特に力を入れていく必要があると考えており、これらに外部からの知識や経験を積極的に活用していきたい。



佐伯を元気づける無所属の会 代議員 井上 清二

障がい者の就労支援について

問 平成30年度から、障害者の雇用の促進等に関する法律の改正で、法定雇用率が国、県、市町村は2・5%に引上げ、民間企業は2・2%、対象の事業所は50人から46人に下げ、雇用率の算定基礎は、身体・知的、そして精神障がい者に加えられる。全国的にも、精神障がい者の就労意識が向上し平成28年度は約8万6000人、障がい者の約4割を占める中、佐伯市の雇用率は2・51%で18名雇用。その内、知的障害者雇用は0である。知的障害者が常勤・非常勤職員になれない規定はなく、最近では、常勤職員として採用する自治体も増えている。雇用率の引上げに対する考えと共に、知的・精神障がい者の雇用対策を問う。

答 市では、職員採用について障がいのある方も公平に対応しているが、障がい者の雇用促進を図るため、障がい者枠を設けて募集を行っている。本年度から身体障がい者枠に知的・精神障がい者も加え、募集を行い、平成30年4月から1名の採用者を予定している。また、臨時・非常勤職員についても職種環境に配慮し、障がいのある方を採用できるように対応する。



菅 さとみ

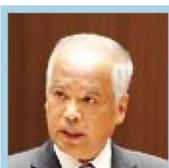
北朝鮮籍とみられる不審船の対応について

問 昨年11月以降、北朝鮮とみられる木造船の漂流・漂着が相次いでいることから、本市において備えと対応をとるのか。

答 漂流・漂着している不審船を発見した場合、北朝鮮などの工作船や、密漁・密輸を行う船であることが疑われる。海上で漂流船を発見した場合は、海上保安庁が対処し、漂着した船や不審人物を発見した場合は、警察が対処することになるので、近づくことなく速やかに海上保安庁または警察に通報することになる。

問 海上自衛隊、国や県との連携について問う。

答 テロや武力攻撃を伴うような事象の場合には、「佐伯市国民保護計画」に基づき、大分県知事に対し、国において自衛隊派遣など必要な措置を講ずるよう要請する。



上田 徹

フッ素洗口実施の説明会は！

問 これまで試験的に実施した学校の状況と、成果はどうだったのか。

答 これまで10校で実施してきており、児童の参加率は89・3%である。成果については経年比較をする年数がなく次年度には比較できない。具体的には、一人当たりの虫歯の本数で評価したい。

問 今年度実施するフッ素洗口の事前説明会は、どうするのか。

答 教育委員会から、有効性や安全性について説明し、質問等も受けながら、洗口を体験する時間も設けている。

問 説明会では、安全性と同時に注意をしなければならぬ事項についても説明するべきだと思いが、どう考えているのか。

答 昨年度の試験的に実施した時と同様に行っていく。夏休みに「子供の歯の健康づくり講演会」を開催する予定である。

問 薬品の保管方法は、取扱注意の説明では、冷蔵庫に保管することになっているが、どうしていくのか。

答 クーラーボックス等で保管していく。



佐伯市の医療体制について

本田 房代

問 救急医療体制の現状と課題を問う。

答 重症患者に対する二次救急医療体制は構築しているが、重篤な脳血管疾患や心疾患患者への対応が困難な状況も見受けられ、医療提供体制の充実が喫緊の課題である。

このため、来年度から健康増進課内に地域医療推進係を新設する。今後も関係機関と連携し、医師や看護師等の確保、要請の支援をし、安全安心な体制整備に取り組む。

問 心臓外科や脳外科など専門医の確保に向けた佐伯市の取り組みを問う。

答 大分県、大分大学医学部、地域医療機能推進機構本部に要請し、循環器内科医師の確保ができた。引き続き不足している専門医の確保に努める。

問 医師をめざす学生に対し、市独自の奨学金を創設できないか。

答 大分県では大分大学医学部地域枠制度を実施しており、今年度から大分大学医学部が、県内の自治体・医療機関と連携し内科医の育成と地域の内科医療費支援を始めた。

奨学金制度については、既存の制度を利用して、市独自事業として市の医療に貢献してもらうための支援等検討する。



公用車の交通事故はなぜこんなに多いのか

高司 政文

問 市職員が公用車で起こす事故件数及び市の認識、原因と対策について問う。

答 交通事故件数は、平成25年度31件、平成26年度32件、平成28年度30件、平成29年度39件とここ3か年増加している。市役所は、本市全体における交通安全行政の中核を担っている事業所であり、交通安全に関し、率先して他の事業所、市民の模範となる事業所であることが求められる。

事故原因は平成29年度で見ると、不注意が30件、自然災害等が9件である。対策として、職場内交通安全啓発運動の実施等安全運転の意識高揚を図っている。

問 事故原因の一つとして多忙な勤務やメンタル面での問題は考えられないか。

答 職員のメンタル面の不調による勤務状況は、保健師による相談体制をとったことで長期休職者は減少し、2週間から2、3か月程度の病気休暇が増えている。直接勤務状況やメンタル面が原因とは考えていないが、過重勤務等で注意力が不足することもあるため、今後も職員の健康管理、過重労働の抑制に取り組んでいく。



佐伯市の林業振興について

森 三千年

問 佐伯市における50年循環型林業は実現可能か。

答 人工林面積は、3万3181haあり、伐採面積は350haとなっており、今後も現在の伐採量で推移するとした場合、50年循環型林業は実現可能であると考えている。

問 伐採分野では担い手不足が生じてないが造林分野では人手不足が深刻化しているが解決策について問う。

答 県や森林組合等と連携して担い手の確保に努めていきたい。また補助事業による支援も図りながら担い手確保対策を推進していきたい。

問 コンテナ苗について現在南部地域苗木生産協議会でその生産に取り組んでいるが、まだまだ試験段階である。コンテナ苗の生産試験に穂木が必要であるが、穂木を取るための採種園に係る経費について、市として支援できないか。

答 コンテナ苗の重要性を理解している。生産性を高めるために、前向きにとらえて検討していきたい。



農業振興地域について

佐藤 元

問

農地基盤整備事業の現状について問う。

答

佐伯市管内の農用地区域は、平成28年度末において、1926haで、そのうち、ほ場整備事業等で整備した農用地区域は、約700haある。農用地区域の概ねは、農地として振興を続けているが、一部については、高齢化や獣害により耕作放棄地となっている箇所もあり、農業委員会による農地利用状況調査によると、農用地区域のうち再生困難な農地が282ha存在している状況である。

問

農振地区域からの除外について問う。

答

農業振興地域内の農用地からの除外については、農業振興地域の整備に関する法律第13条第2項の各号の要件を全て満たし、なおかつ農地転用の許可基準も満たし、農地転用の確実性があると認められる場合に除外が可能である。しかしながら、法律上で農地区分が1種農地（土地改良事業等の施行にかかる区域内の農地）とされている農地については、除外が困難であるという状況になっている。



重度心身障がい者医療費の給付手続き負担軽減へ

浅利 美知子

問

重度心身障がいを持つ方に対し、福祉の増進を図ることを目的に、医療費の一部を支給する制度がある。支給対象者と受給者証の交付人数を問う。

答

支給対象者は、所得による支給制限があるが、身体障がい者手帳の1級・2級、療育手帳A及び精神障がい者保健福祉手帳1級を持つ人となっている。受給者証の交付人数は、平成29年度2月末で1817人である。

問

公明党は、昨年11月21日、40回目の予算要望書を広瀬大分県知事に手渡した。要望項目に「重度心身障がい者医療費の「現物給付方式」を要望し続けてきた結果、前向きな答弁をもらった。また、昨年12月の県議会での公明党議員の質問に対し、毎月の請求手続きが不要となり、障がいを持つ方や家族の負担軽減につながり、約8億円の国保ペナルティが回避される「自動償還払い方式」の導入を平成31年度中にめざすと答えている。大分県は、新年度予算で電算システムの改修費に対する助成費を計上している。佐伯市は、導入するかを問う。

答

システム改修費を予算に計上し、県と連携を取り平成31年度導入をめざす。



みんなの水道守ってほしい!!

清田 哲也

問

水道施設の耐震化はどうなっているか。

答

管路については、老朽管の更新時に耐震管に移行している。配水池など、より重要度の高い施設は、平成30年度から耐震化を行う予定であるが、全ての施設の耐震化を行うためには、40年間で400億円の費用が必要であり、財政状況とのバランスをとりながら計画的に行う必要がある。

問

料金収入が減収傾向にある中で事業の持続可能性を高めるために新たな料金体系の構築が必要と考えるが。

答

水道事業は、基本的に料金によって維持管理費を確保する必要がある。また平成30年度からは簡易水道事業との経営統合を控えており、経営状況は一段と厳しさを増すことになり、事業の持続可能性を高めるためには、早い時期に料金改定を行う必要がある。

問

スマートメーターの導入と外部委託の拡大について問う。

答

スマートメーターは、漏水の即時発見や検針業務のコスト削減効果が期待できるため、今後も情報収集に努めていく。地元企業と連携し、委託による効果を適時評価しながら必要な委託を実施していく。



観光協会の在り方は

濱野 芳弘

問 観光協会は、市の下請け的な存在ではなく、観光振興のプロとして自立し、観光客のみならず、加入している協会員のために事業を行うべきと考えるが現状と市の考え方を問う。

答 平成30年度、市は観光ブランド推進部を立ち上げ、官民が連携して佐伯市観光を推進していくために観光協会を市役所内に移転してもらう。観光協会の体制強化をはかるために旅行社から社員派遣を検討している。観光協会が観光振興のプロフェッショナルとして機能し、協会員の皆様に真に役立つ協会となるよう支援していく。



▲佐伯市観光交流館



インフルエンザまん延を 防げ！

大野 達也

問 今冬はインフルエンザが大流行し、一月五日には大分県にインフルエンザ警報が発令された。その後、市の対応は。

答 流行期に入る前に、市報やケーブルテレビ、保健師による講話等で啓発を行ったが、警報発令後に市として対応はしていない。

問 教育現場での児童の感染状況は。

答 幼稚園が延べ245人。小学校が延べ4410人。中学校が延べ1554人。前年比の3・3倍となった。学級閉鎖した学級は36学級。全270学級の13%である。

問 感染症の流行警報が発令された後、防災局が関わり、佐伯市防災・行政ラジオを活用した注意喚起はできないか。

答 感染症の流行警報は、防災局が関わる市民の生命に直ちに危険を及ぼす緊急情報には当たらないと考えている。しかし、一般情報として、関係機関と協議を行い、佐伯市防災・行政ラジオを活用していきたい。



佐伯駅にエレベーター設 置を！

飛高 彌一郎

問 公共交通機関を利用する高齢者、障がい者の移動支援対策として佐伯駅にエレベーターを設置するべきと考えるが、市としてどのように取り組んでいくのかを問う。また、市費での設置について考えを問う。

答 佐伯駅のエレベーター設置については、11月に「JR佐伯駅のバリアフリー化を求める署名」4万8693人分を九州旅客鉄道株式会社（JR九州）に提出し、市民の強い要望として、早期実現に向けた働きかけを行うとともに、国土交通省に対しても要望活動を行っている。

「高齢者、障害者等の円滑化の促進に関する法律」に基づく、国の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」では、1日の平均乗降利用者数が3000人以上の駅については、平成32年度までにバリアフリー化することとしている。また、その際の経費の負担割合は、国、JR、自治体が3分の1ずつとなっている。佐伯駅の1日の利用者数は約1600人で、国の基準に達していないため、JR九州としては「要望に応えたい意向はあるものの、早期実現は厳しい」と考えているようである。市としても、引き続き、国、JR九州、大分県に対し、バリアフリー化の実現を強く働きかけていく。また、費用の負担方法や財源について、要望活動を行う中で調整していきたい。



「所有者不明の土地」をなくせ！

後藤 勇人

問 現在、所有者不明の土地の解消に向け、市において全棟調査を行っているが、その進捗状況と所有者不明の土地がどのくらい把握できているのか現在の状況を問う。

答 現在、市では、固定資産税の公平・公正な課税を行う目的で家屋全棟調査を行っているが、この調査は佐伯市内の全ての家屋について、市の把握できていない新築、増築及び取り壊しを把握し、それらを課税台帳に反映させようとするものである。調査期間は平成28年9月から平成32年3月までの5年間で、現在は第1次調査である。

市の所有する家屋台帳と現地での実際の建物の照合作業を行っており、平成30年2月20日現在で、家屋課税台帳登録数6万3881軒の内、6万3608軒が調査終了で99.6%が調査済みとなっている。所有者不明の土地については、この調査の対象ではないが、所有者不明の家屋については、これから行う未評価家屋を調査する第2次調査の段階では把握できるものと考えている。ただし、家屋の所有者と土地の所有者が必ずしも同じではない場合もある。



平成29年の台風18号の対応について

河野 豊

問 避難準備情報、避難勧告、避難指示は適切であったのか根拠とともに問う。

答 避難準備は、前日明るいうちに発令。避難勧告は、土砂災害警戒情報の危険度が上昇し発令。その後、河川水位の上昇に伴い、対象地区に避難指示を発令。3回目の記録的短時間大雨情報が発表され、土砂災害警戒及び河川氾濫の危険性が高まったと判断し、市内全域に避難指示を発令した。概ね適切な発令であったと考える。

問 被災状況の把握や確認、土のう等の対処情報の伝達は適切であったか問う。

答 被災状況の把握や確認は市の総務対策部応急対策班が区長等に協力を得ながら把握。土のうは、消防団が事前に準備し被害に対応。情報の伝達は防災スピーカーやメール、佐伯市防災・行政ラジオを活用した。

問 ボランティアの受入れ、派遣の対応に問題はなかったか問う。

答 社会福祉協議会の職員が被災地区を訪問しニーズの聞き取りを行い、内容にあった派遣を行ったが、市が応急被害調査の際にニーズを把握しておれば、迅速で効率的な派遣ができたのではと考える。



台風18号による災害復旧の進捗状況について

西條 隆洋

問 県管理河川の復旧状況及び復旧計画について問う。

答 災害復旧事業として、河川及び砂防施設災害は108件となっており、発注済は55件、3月発注予定は49件となっている。残り4件については、4月以降の発注予定とのことである。工事の完成は平成30年の出水期までの完成をめざしている。

問 市管理河川の復旧状況及び復旧計画について問う。

答 河川災害復旧事業として13件となっており、発注済みは3件、3月発注予定は5件となっている。残りの5件については、林道等の災害復旧事業との現場条件などから4月以降の発注予定となっている。工事完成予定は平成30年の出水期までの完成をめざしている。

問 被災した避難所等について問う。

答 被災した指定緊急避難場所及び指定避難所の見直しについては、床上浸水や建物被害を受けたものは指定の取り消し、床下浸水や周辺道路の冠水等で建物被害のない場合は基本特に見直しを行わない。

議会モニターとの意見交換会開催

一般モニターと団体モニターを分けて開催し「議会運営」をテーマに多くの意見を頂きました。

開催日

一般モニターとの意見交換会

2月8日

団体モニターとの意見交換会

・建設経済常任委員会 1月29日

・教育民生常任委員会 2月13日

・総務常任委員会 2月16日

議会モニターからの意見（抜粋）

意見 モニターとの意見交換会の開催を年2回に増やしてほしい。

回答 今後検討する。

意見 政務活動費は適正に使用されているか。

回答 政務活動費は適正に使用している。支出内容についてもホームページでの公表を行う。

意見 個人情報に関して、傍聴の受付簿等には利用目的が明記されているのか。

回答 今後検討する。



▲一般モニターとの意見交換会の様子

意見 民生児童委員の報酬が少ない。
回答 委員会としては、なり手不足や報酬の問題について根本的な問題がどこにあるのか検討していく。

本会議における出欠状況

会派	氏名	臨時会 開会日	6月定例会				9月定例会				12月定例会				3月定例会				
			代表・一般質問		閉会日		代表・一般質問		閉会日		代表・一般質問		閉会日		代表・一般質問		閉会日		
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
彩輝会	大野 達也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本田 房代	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	塩 月 健治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	清田 哲也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	富松 万平	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	濱野 芳弘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志高会	清家 好文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	坪根 大吉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	森 三千年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
南風会	飛高 彌一郎	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	福嶋 勝彦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	御手洗 秀光	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自民党	上田 徹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	矢野 幸正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
公明党	河野 豊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	佐藤 元	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
無所属会	浅利 美知子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	後藤 勇人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
無会派	西條 隆洋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	井上 清三	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	菅 さとみ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
無会派	高司 政文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	三浦 涉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	吉 良 栄三	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：出席 ▲：半休 ×：休 ※半休、休は欠席届を提出し議長の許可を得ている。 ※無所属の会：佐伯を元気にする無所属の会

市民と議員の意見交換で

これからの「さいき」を創る！

第10回佐伯市議会「議会報告会」を開催



▲ 昨年（第9回議会報告会）の様子

- * 防災倉庫の備蓄品に補助を！
- * 廃校となった小中学校の有効活用を進めて。

今回で10回目の議会報告会を下記の日程で開催します。
ぜひ、皆様のご参加をお待ちしています。一緒に「議会改革」と「これからの佐伯市」を語り合いたいと思います。

どの会場でも参加できます。

第10回 議会報告会 日程表

日時	会場	中学校区	担当班
5月14日（月曜日） 午後7時00分～8時30分	佐伯東地区公民館	鶴谷	1班
	木立地区公民館	佐伯南1	2班
	鶴見地区公民館	鶴見	3班
	下堅田地区公民館	佐伯南2	4班
	八幡地区公民館	彦陽	5班
5月15日（火曜日） 午後7時00分～8時30分	米水津地区公民館	米水津	1班
	蒲江地区公民館	蒲江翔南	2班
	三余館	佐伯城南	3班
	鶴見地区公民館田の浦分館	大島	4班
	上浦地区公民館	東雲	5班
5月16日（水曜日） 午後7時00分～8時30分	大入島地区公民館	大入島	1班
	本匠西地区公民館	本匠	2班
	宇目地区公民館	宇目緑豊	3班
	弥生文化会館	昭和	4班
	直川地区公民館	直川	5班

※佐伯南中学校区（上堅田・灘・木立・下堅田・青山）は2会場で開催します。

〔班構成〕

班	班長	議員（議席順）			
1班	高司 政文	御手洗秀光	富松 万平	濱野 芳弘	飛高彌一郎
2班	塩月 健治	菅 さとみ	大野 達也	本田 房代	吉良 栄三
3班	西條 隆洋	佐藤 元	井上 清三	清田 哲也	清家 好文
4班	河野 豊	浅利美知子	矢野 幸正	坪根 大吉	
5班	後藤 勇人	上田 徹	森 三千年	福嶋 勝彦	

- ・ 議員の班編成及び開催場所は、抽選により決定しています。
- ・ 議長は、特定の班に所属せず、いずれかの会場に参加します。

合併特例債の発行期限の再延長を 求める意見書提出!

3月2日、合併特例債の発行期限の再延長を求め、総務大臣及び地元国会議員へ意見書を提出しました。

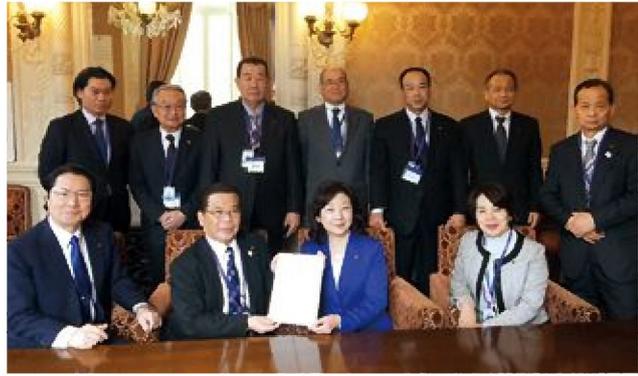
合併特例債は、市町村合併をした自治体の建設計画に基づく事業経費に対して、財源にできる地方債です。約7割は実質的に国の負担となり、本市では大手前再開発等の財源になっていきます。ただし、その発行は期限つきで、本市の場合は平成31年度までとなります。意見書は、自然災害復興やオリンピックピック整備等に伴う建設需要の増大により、建設資材の高騰、技術者不足が見られる中、円滑で確実な合併基盤整備事業の遂行を担保することを目的とし、発行期限5年の延長を求めたものになります。

森林組合との意見交換会!

1月16日、宇目の佐伯広域森林組合にて、組合理事の皆さんと市議会議員による意見交換を行いました。

これから人工林の約6割が50年を越え、主伐期を迎えることとなります。森林に対して求められる課題は多岐にわたりますが、ここでは台風18号の被害を受けて、「森林の公益的機能の確保」「再造林の徹底」「人材確保」大きくこの3点に話題が集まりました。

▲正副議長、各会派代表が衛藤代議士とともに野田総務大臣に意見書を提出



▲意見交換前の工場内視察風景

お知らせ

政策研究会では、祖母・傾・大崩コネスコエコパークの調査研究を行ってきました。

平成30年度からエコパーク推進室が発足したこともあり、引き続き同テーマで研究していきます。

編集後記

「議会だよりが見やすくなった」最近、議会報告会や議会モニターとの意見交換会の場で、待ち望んでいた声をようやく聴けるようになった。以前は読んでいたか訊ねても10人に1人ほどしか反応がなかった。

「市民に愛される、市民目線で親しまれる議会だよりを作ろう。」広報委員一丸となり、本格的な紙面改革に取り組み始めて、早3年が経つ。この間、1つ1つの原稿が試行錯誤の上紙面化されているのに気づいた人もいたと思う。

こうした努力が実り、本年度から年4回の議会だより全てが、全面カラーで配布されることが決まった。私たち議員は、税金が正しく使われているかチェックすることが最大の使命だ。市民の皆さまから無駄遣いだと指摘を受けることがないよう、今号も最良の「議会だより」を模索している。

広報委員 富松万平

5月、6月の主な議会日程

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
5/6	7	8	9	10	11	12	6/3	4	5	6	7	8	9
								議運 本会議 (開会日)					
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
	議会報告会	議運 議会報告会	議運 議会報告会		議運 臨時会				議運 本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
					議運 全議員勉強会				建設経済 教育民生 常任委員会	総務 常任委員会	予算 特別委員会		
27	28	29	30	31	6/1	2	24	25	26	27	28	29	30
									議運 本会議 (開会日)				



本会議及び委員会審査の様子はインターネットで録画映像を配信しています。佐伯市議会のホームページからご覧ください。